

令和5年12月6日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長 野崎 秀則

「土木学会デザイン賞 2023 奨励賞」を受賞 「長久手市公園西駅1号公園」

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）がデザインと設計に関わった万博レガシーをまちづくりに取り入れた環境配慮型の長久手市公園西駅1号公園が、このたび土木学会デザイン賞 2023 奨励賞を受賞いたしました。

土木学会デザイン賞は、公益社団法人土木学会景観・デザイン委員会が主催する顕彰制度です。公募対象を広く土木構造物や公共的な空間に求め、計画や設計技術、制度の活用、組織活動の創意工夫によって周辺環境や地域と一体となった景観の創造や保全を実現した作品およびそれらの実現に貢献した関係者や関係組織の顕彰を行っています。

当社は、今後もデザインと地域振興とが両立する良質な公共空間創出を目指し、国内外で社会に貢献する様々な事業展開を積極的に進めてまいります。

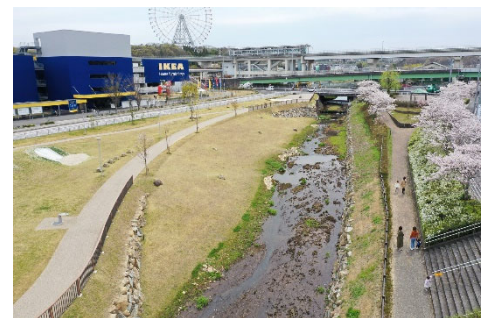
<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤・丸山・門司

長久手市公園西駅1号公園

- 受賞対象名：長久手市公園西駅1号公園
- 事業主体名：長久手市役所 建設部 区画整理課
- 当社の役割：1号公園の基本設計及び実施設計、デザイン実現化のための課題と対応策の提案、「長久手市香流川整備計画検討委員会」の運営推進
- 概要：公園西駅1号公園は、名古屋都市計画事業公園西駅周辺土地区画整理事業（施行者：長久手市）で整備された面積3,801.68㎡の街区公園である。同区画整理事業は自然の叡智をテーマに開催された愛・地球博（2005年日本国際博覧会）の会場であった、愛・地球博記念公園に隣接しており、万博レガシーをまちづくりに取り入れた環境配慮型まちづくりを進めている。
公園西駅1号公園のデザインは、公園西駅1号公園と隣接する1号調整池（面積4,052.33㎡）と一体となった公園緑地空間と、長久手市が管理する普通河川香流川の緩傾斜護岸を活かした親水空間とで構成される。この内、公園緑地空間デザインは、2016年に長久手市建設部区画整理課が株式会社オリエンタルコンサルタンツ中部支社の基本設計成果をもとに編集したが、公園西駅1号公園と1号調整池を合わせた約0.8haの空間を、単なる緑だけでなく、地下貯留方式に変更した調整池上部に、植栽基盤の荷重を考慮したアンジュレーションを設けた。また、香流川とあわせ、来園者等の回遊性を高めるよう、連続的な園路を配置すると共に、区画道路が横断する区間でデザインが断線しないよう、区画道路舗装に遮熱性舗装を採用した。
親水空間デザインは、2013年から開催している「長久手市香流川整備計画検討委員会」（長久手市建設部土木課主管：2016年から推進委員会へ改称）内で検討がなされ、株式会社オリエンタルコンサルタンツ中部支社が監理を担当した。その成果をもとに、区画整理課が緩傾斜護岸を活かした親水空間の具体化に取り組み、緩傾斜護岸の勾配を30度以下に抑え、出水時の安全な待避と圧迫感が軽減されたデザインをまとめた。
公園西駅1号公園は2022年3月に竣工し、1年が経過したが、最も若い地方自治体である長久手市らしく、若い世代だけでなく、香流川護岸も含め元気に歩かれる高齢者へ憩いの空間を提供している。

土木学会デザイン賞審査委員による講評等は以下 URL を参照

URL：<http://design-prize.sakura.ne.jp/archives/result/2175>



写真提供：長久手市